

1 市町村による文化的景観価値調査報告書（～平成 25 年 3 月刊行）

※ 価値調査報告書及び保存計画書が合冊となった報告書については、価値調査報告部分の目次のみ掲載した。

北海道平取町文化的景観保護推進事業 第 1 年次報告書 ファイル A

刊行年月 平成 18 年 3 月
刊 行 平取町教育委員会
編集協力等 平取町文化的景観検討委員会／
平取町立二風谷アイヌ文化博物館

目 次

はじめに

第 I 編 論考編

- 1 沙流川流域の自然景観について
- 2 牧野と牧野林
- 3 平取らしい農村景観と景観文化を
- 4 観光地に相応しい景観づくりの提言
- 5 ペンケ・パンケと昔の暮らし

第 II 編 図版資料編

- 1 景観データベース画面
- 2 各種分析図（1）：平取町全域
各種分析図（2）：先行調査 4 区域
- 3 景観構成分析年表
- 4 空撮写真
- 5 事業スナップ

補 考 第 2 年次の事業課題

「中標津の格子状防風林」保存・活用事業報告書

刊行年月 平成 18 年 3 月
刊 行 中標津町文化的景観検討委員会

目 次

第 1 章 「中標津の格子状防風林」保存・活用事業概要

- 1 平成 16 年度事業計画
- 2 事業概念図
- 3 事業運営組織図

4 検討委員会委員等名簿および担当

5 事業日程報告

6 平成 17 年度事業計画

7 事業概念図

8 検討委員会委員等名簿および担当

9 事業日程報告

第 2 章 中標津における文化的景観事業の背景と経緯

1 町（地域）の景観形成の取り組み戦略について

2 中標津町における文化的景観と町の諸計画との関係

3 中標津町における文化的景観に配慮すべき法規制表

第 3 章 中標津と文化的景観

1 文化的景観とは何か

2 中標津における文化的景観の取り組み

3 中標津における文化的景観地区の考え方

4 中標津町における文化的景観のあり方

第 4 章 中標津の文化的景観調査について

1 調査の基本的な考え方

2 開拓以前の中標津町史概要

第 5 章 中標津の文化的景観調査とその結果

1 拓殖農業史調査

2 林業史調査（河畔林を含む）

3 自然調査（哺乳類・両生類・爬虫類・鳥類・昆虫類・植物・魚類および水棲生物・その他の調査）

4 自然調査（コウモリ調査）

5 空間特性調査

6 気候・防災調査

第 6 章 各調査に基づく中標津の文化的景観とは

1 中標津の文化的景観とは

2 3つの景観単位について

3 中標津の文化的景観特性の要素について

第 7 章 景観に対する相互理解について

1 中標津の「農村景観を考える」フォーラムの開催

2 農業景観の理解に向けた「再発見ツ

	アー」の開催
	3 景観まちづくり新聞「風の栞」の発行
	4 「ネットワーク座談会」の開催
第8章	「文化的景観・協働ワークショップ」について
	1 「文化的景観・協働ワークショップ」の目的
	2 「文化的景観・協働ワークショップ」の開催地域決定までの経緯
	3 「文化的景観・協働ワークショップ」の開催結果
	4 「文化的景観・協働ワークショップ」での意見集約結果
第9章	中標津の文化的景観における課題について
	1 総合的な課題
	2 3つの景観単位に共通する課題
	3 3つの景観単位ごとの課題
	4 文化的景観調査における課題
	5 今後の進め方について
第10章	保存管理計画について
	1 中標津における保存管理計画を検討する際の5つの視点
	2 保存管理計画を考える際の基本的な考え方

**「遠野物語の景観」
文化的景観保存調査事業実施報告書**

刊行年月 平成19年3月
刊 行 遠野市教育委員会

目 次	
序 章	「遠野物語の景観」保存調査事業の取り組み経過
	第1節 取り組みに至る経過
	第2節 保存調査事業の取り組み経過
第1章	文化的景観保存調査の概要
	第1節 「遠野物語の景観」
	第2節 遠野物語の景観保存調査事業に関するアンケート調査の方法と調査結果
	第3節 「遠野物語の景観」全般的構成要素の抽出

素の抽出	
第2章	「遠野物語の景観」保存対象候補地の選定
	第1節 検討事項と選定基準
	第2節 文化的景観の候補地
	第3節 「遠野物語の景観」保存対象候補地の概要と今後の取り組み
第3章	文化的景観「遠野」荒川高原牧場
	第1節 荒川高原牧場の位置と周辺環境
	第2節 荒川高原自然環境保全地域
	第3節 荒川高原牧場の地形と地質
	第4節 荒川高原牧場の植物と植生
	第5節 荒川高原牧場の野生動物
	第6節 遠野市内牧場と荒川高原牧場
	第7節－1 荒川高原牧場の歴史的背景
	第7節－2 荒川高原牧場発達過程の概要
	第8節－1 荒川高原牧場と生業
	第8節－2 荒川高原牧場のシステム
	第9節 遠野物語との関係
	第10節 独自性
第4章	文化的景観「遠野」荒川高原牧場まとめ
	第1節 文化的景観「遠野」荒川高原牧場の景観構成要素と土地利用の状況
	第2節 荒川高原牧場の景観構造と構成要素の有機的関係
	第3節 文化的景観「遠野」荒川高原牧場の価値
付 章	遠野市の景観計画の概要
	第1節 遠野市の概要
	第2節 景観計画の概要

遠野 土淵山口集落 文化的景観保存調査報告書

刊行年月 平成25年3月
刊 行 遠野市教育委員会
編 集 (株)文化財保存計画協会

目 次	
序 章	保存調査事業の概要
	第1節 保存調査に至る経緯
	第2節 保存調査の目的及び内容
	第3節 保存調査の実施体制
第1章	「遠野 土淵山口集落」の概要

	第1節	『遠野物語』と山口集落との関係
	第2節	位置
	第3節	保存調査の対象範囲
第2章		自然環境
	第1節	地形・地質
	第2節	生態系
	第3節	水系
第3章		歴史的変遷
	第1節	歴史資料から山口集落を読む
	第2節	土地利用の歴史的変遷
	第3節	石碑および薬師堂
第4章		屋敷と眺望景観
	第1節	屋敷構えと住居
	第2節	集落景観の構成要素と眺望
第5章		生活文化
	第1節	『遠野物語』の背景を構成する民俗－社会、生業、消費、景観
	第2節	生から死までの儀礼
	第3節	1年の生活サイクル－年中行事
	第4節	信仰－屋敷神・屋内神
	第5節	まとめとして
第6章		景観に関する住民意識
	第1節	外部者による地域点検調査
	第2節	地域住民アンケート調査
	第3節	地域づくり活動の過程における景観認識の把握
第7章		文化的景観の特性分析
	第1節	文化的景観の保存状況
	第2節	文化的景観の特性整理

一関本寺の農村景観保存調査報告書

刊行年月	平成18年3月
刊行	一関市教育委員会
編集	(株)文化財保存計画協会

目次

第1章	沿革と目的
	1 保存調査に至る経過
	2 保存調査の目的
	3 検討体制
第2章	文化的景観保存調査の対象範囲

	1 位置
	2 対象範囲
	3 人口構成、産業構造
第3章	本寺地区の概要
	1 自然環境
	2 土地利用の歴史的変遷
	3 土地利用の現況
	4 主要視点場からの景観
	5 骨寺村荘園遺跡の史跡指定と埋蔵文化財の分布
	6 本寺地区の年中行事
	7 本寺地区の地域づくり活動と景観認知
第4章	文化的景観の価値の分析
	1 文化的景観の構造及び特性
	2 景観単位の区分
	3 景観構成要素
資料編	
	1 屋敷地及び建物調査記録
	2 寺社建造物調査記録

大江町と最上川の流通・往来の景観保存調査報告書

刊行年月	平成24年3月
刊行	大江町教育委員会

目次

第1章	大江町の概要
	第1節 位置・沿革
	第2節 社会環境
	第3節 地名
第2章	保存調査の実施
	第1節 調査の目的
	第2節 調査体制
第3章	自然的特性
	第1節 地理的特性
	第2節 地形と地質
	第3節 動植物と生態系
	第4節 河川と水利
	第5節 気候と災害
第4章	歴史的特性
	第1節 平安時代以前の大江町
	第2節 左沢楯山城の時代

	第3節	小漆川城下町の成立と展開
	第4節	舟場の発達と町場の展開
	第5節	左沢の近代化
第5章		左沢における町場の景観
	第1節	町場の土地利用変遷
	第2節	最上川舟運に関わる景観と左沢の景観
	第3節	左沢における建築と街並み
	第4節	左沢の祭りと芸能
	第5節	景観認知
	第6節	4つの軸からみる左沢の景観
第6章		大江町西部の農山村景観
	第1節	景観構造
	第2節	農山村の歴史的建築
	第3節	集落の生業と文化
第7章		町場左沢と農山村の交流関係
	第1節	往来と街道
	第2節	経済的・文化的交流
第8章		大江町と最上川の流通・往来の景観
	第1節	大江町の景観の特徴
	第2節	本質的価値
特 論		
	特論1	小漆川城の構造と遺構について
	特論2	左沢城主の墓について－酒井直次と夫人の墓と言われる石塔から－
	特論3	巨海院酒井直次墓域 悉皆調査
	特論4	酒井直次墓域の墓石群と被葬者

	第6節	気候と災害
第2章		歴史的特性
	第1節	大江町史の概観
	第2節	左沢楯山城の時代
	第3節	江戸時代の左沢
	第4節	近代の変化
第3章		流通・往来
	第1節	最上川舟運
	第2節	陸上交通
	第3節	左沢と農山村と最上川舟運
	第4節	流通・往来の変遷
第4章		暮らしと文化
	第1節	左沢に暮らした人々
	第2節	舟運に関わる文化
	第3節	庶民の信仰と行事
第5章		左沢の街並み
	第1節	各時代の土地利用
	第2節	建造物が語る街並み景観
	第3節	最上川舟運河岸集落景観の比較
第6章		景観認知
	第1節	語り継がれる景観
	第2節	原町の景観認知
	第3節	駅前町の景観認知
	第4節	内町・横町の景観認知
	第5節	校歌と校章
	第6節	左沢楯山城と「日本一公園」
第7章		左沢の町場景観

最上川の流通・往来及び左沢町場の景観保存計画書 保存調査編・保存計画編

刊行年月 平成24年7月
刊 行 大江町教育委員会

目 次

第I部	保存調査編
第1章	自然環境とその利用
	第1節 地理的環境
	第2節 最上川の流れ
	第3節 地形と地質の特徴
	第4節 左沢の水利環境
	第5節 植物相と栽培作物

大谷の文化的景観の保存・活用事業報告書

刊行年月 平成18年3月
刊 行 宇都宮市／大谷の文化的景観保存・活用検討委員会
編 集 (株)文化財保存計画協会

目 次

はじめに
第1章 調査対象地域の概要
1 調査対象の範囲
2 歴史
3 自然環境
4 生活・生業

	5 行政の取組み
	6 地域の取組み
第2章	大谷石採掘産業の概要
	1 大谷石の特性と用途
	2 大谷石採掘産業の歴史的概観
	3 採掘規模の推移
	4 採掘技術
	5 採掘産業に関わる主体
	6 輸送
	7 採掘に関する規制・基準
	8 生活・風習
	9 景勝地・観光地としての調査対象地域
	10 大谷石採掘産業の時代特性
	11 採掘産業に関連する遺構
	12 大谷石採掘産業と対象地域の景観との関係
第3章	大谷地域における文化的景観の特性
	1 景観資源図
	2 景観構成要素の抽出
	3 大谷地域の景観の構造
	4 文化的景観としての特性
	5 景観単位
第4章	文化的景観の保存・活用に向けて
	1 文化的景観の保存・活用に向けての検討すべき課題
	2 保存・活用に向けた段階的計画
第5章	文化的景観保存計画の策定に向けて
	1 文化的景観保存計画策定に向けての流れ
	2 詳細調査の内容と方法
	3 保存計画において定める内容
	4 農林水産業に関する文化的景観との比較

資 料

石のまち大谷の文化的景観保存計画報告書

刊行年月 平成 20 年 3 月
刊 行 宇都宮市

目 次

第Ⅰ章 はじめに

	1 はじめに
	2 これまでの取り組み
	3 文化的景観保存計画策定推進体制
第Ⅱ章	文化的景観保存調査の概要
1	対象地域の概要
	1-1 立地
	1-2 交通
2	石のまち大谷の文化的景観に係る基礎的事項
	2-1 大谷の自然特性
	2-2 大谷の歴史的特性
	2-3 土地利用の変遷
3	大谷石産業の概要
	3-1 採石産業規模の推移
	3-2 採石方法の変遷
	3-3 採石に関する組織と風習
	3-4 大谷石の輸送方法の変遷
	3-5 大谷石の利用
	3-6 大谷石採石場跡地の利用
4	大谷来訪者による景観のイメージと認識
	4-1 景観認識調査の目的
	4-2 調査の概要
	4-3 撮影場所
	4-4 撮影された景観要素
	4-5 大谷のイメージと要素
	4-6 大谷地域の景観に対する意見
	4-7 まとめ
5	文化的景観の特性と景観構成要素
	5-1 文化的景観の特性
	5-2 地区別特性（景観単位）
	5-3 景観構成要素

群馬県板倉町水場の文化的景観保存調査報告書

刊行年月 平成 20 年 3 月
刊 行 板倉町教育委員会
編 集 (株) 文化財保存計画協会

目 次

第1章 調査概要

第1節 位置

第2節 調査に至る経緯

第3節 調査の目的

	第4節	調査の経過
	第5節	調査組織
第2章	板倉町の環境	
	第1節	自然環境
	第2節	歴史
	第3節	くらし
	第4節	板倉町の景観特性
第3章	自然堤防集落と谷田川流域における景観の概要	
	第1節	調査の対象地区及び方法
	第2節	自然堤防集落の景観
	第3節	谷田川
第4章	「水場」に対する意識の変化	
	第1節	「水場」に対する意識の変化
	第2節	「水場」における行政・地域の取り組み
第5章	板倉町における「水場」の景観特性	
	第1節	「水場」の景観特性
	第2節	自然堤防集落と谷田川の景観特性
第6章	重要文化的景観選定に向けての課題	
	第1節	水場の文化的景観保存をめぐる文化政策的課題
	第2節	申出のための法整備および関連計画との調整
	第3節	近隣市町村との連携
	第4節	体制づくり
参考文献		

大山の千枚田文化的景観保存活用計画

刊行年月	平成18年3月
刊 行	大山の千枚田文化的景観保存活用 実行委員会

目 次

第1章	文化的景観 大山千枚田の概要
	第1節 保存活用計画の基本方針
	第2節 大山千枚田の沿革
	第3節 調査の対象範囲の設定
第2章	大山千枚田の文化的景観の価値
	第1節 大山千枚田の自然的基礎

	第2節	大山千枚田の植生
	第3節	大山千枚田の動物相
	第4節	大山千枚田の歴史的背景
	第5節	大山千枚田の景観特性と景観の現況
	第6節	大山千枚田に対する地域住民の景観認識
第3章	大山地域の農業と大山千枚田保存の取り組み	
	第1節	大山地域の農業
	第2節	大山千枚田とその経営
	第3節	大山千枚田保存の取り組み

佐渡西三川の砂金山由来の農山村景観 保存調査報告書

刊行年月	平成23年3月
刊 行	佐渡市

目 次

第1章	保存調査の目的
	1 調査に至る経緯
	2 保存調査の目的
	3 検討体制
第2章	佐渡市の概要
	1 位置・沿革
	2 地理的環境
	3 歴史的環境
	4 人口・産業構造
	5 佐渡市の文化財
第3章	調査地の概要
	1 概要
	2 歴史的変遷
第4章	自然的特性
	1 地形
	2 地質
	3 陸水動物
	4 植物
第5章	砂金採掘と農地開発の歴史
	1 笹川十八枚村の成立
	2 幕末維新期の砂金生産と近代への対応
	3 近代以降の人々のくらし

第6章	土地利用の変遷
1	砂金採掘に関わる土地利用
2	農地開発に関わる土地利用の変遷と景観変化
第7章	集落の生活文化と地域づくり
1	集落組織と生活文化
2	住民の地域づくり活動
3	景観への意識調査
第8章	現在の景観とその構造
1	景観の基本構造
2	笹川集落内の歴史的建造物の分布状況
3	歴史的建造物調査
第9章	文化的景観の本質的価値
1	有機的に関連する砂金採掘と農地開発
2	文化的景観の本質的価値
西三川地区年表	

砺波市散村景観保全・活用調査報告書

刊行年月	平成21年3月
刊行	砺波市

目次

序章	調査の目的
第1節	調査の目的
第1章	砺波散村景観の特性
第1節	砺波平野の自然
第2節	砺波平野の歴史
第3節	砺波平野の現状
第2章	散村景観の成り立ちと構造
第1節	散村景観の成り立ち
第2節	散村景観の構造
第3節	散村の生活様式・習慣
第4節	散村の課題
第3章	散村景観の総合評価
第1節	総合散村景観図
第2節	地区別景観評価
第4章	住民意向調査
第1節	アンケート調査
第2節	地区説明会
第5章	モデル地区詳細調査
第1節	詳細調査

第6章	砺波散村景観の保護
第1節	散村景観保護の意義
第2節	散村景観保全の手法
第3節	重要文化的景観選定などに向けた取組体制
終章	砺波散村の特性と重要文化的景観の申出
第1節	文化的景観の規定と類型
第2節	地域資産としての文化的景観
第3節	砺波散村の特性

金沢の文化的景観 城下町の伝統と文化 保存調査報告書

刊行年月	平成21年7月
刊行	金沢市

目次

序章	金沢市の文化的景観保存のための取り組み
第1章	金沢について
1-1	金沢の概要
1-2	金沢の歴史的変遷
1-3	金沢の伝統文化
第2章	金沢の文化的景観
2-1	日本の城下町と金沢城下町の位置づけ
2-2	城下町金沢における都市構造の歴史的変遷
2-3	城下町金沢における伝統文化・芸術等について
2-4	城下町金沢における町民文化について
2-5	卯辰山について
2-6	城下町金沢における景観認知
2-7	城下町金沢の価値について
2-8	城下町金沢とは
2-9	金沢の文化的景観の特性について
2-10	金沢の文化的景観区域について
第3章	金沢の文化的景観の構成要素
3-1	保護すべき代表的な有形の要素
3-2	保護すべき代表的な無形の要素
第4章	重要文化的景観申出区域
4-1	重要文化的景観申出区域の範囲

- 4-2 重要文化的景観申出区域の価値
- 4-3 重要文化的景観申出区域の概要

能登・間垣の里文化的景観保存調査報告書

刊行年月 平成 24 年 3 月
刊 行 輪島市教育委員会
編集協力 財団法人日本ナショナルトラスト

目 次

第 1 章	調査の概要
1-1	調査の目的と方法
1-2	調査の経緯
1-3	検討体制
1-4	執筆分担
第 2 章	調査の対象範囲
2-1	位置
2-2	対象範囲
2-3	人口と産業の状況
第 3 章	歴史的特性－大沢・上大沢のあゆみ－
3-1	はじめに
3-2	志津良荘から大沢村へ
3-3	猟船と廻船の時代
3-4	西保村のころ
第 4 章	民俗的特性
4-1	大沢地区の暮らしと生業
4-2	上大沢地区の暮らしと生業
4-3	能登外浦沿岸におけるマガキの諸相と存続動機
第 5 章	景観特性
5-1	自然環境調査
5-2	集落・建築調査
5-3	間垣関連調査
5-4	景観構成要素
第 6 章	文化的景観の保存・活用に向けて
6-1	はじめに
6-2	文化的景観の保存に向けた取り組み
6-3	文化的景観の保存に関する基本方針

姨捨棚田の文化的景観歴史的調査報告書

刊行年月 平成 21 年 3 月
刊 行 千曲市

目 次

第 1 章	棚田を取り巻く環境
第 1 節	自然環境
第 2 節	人文環境
第 2 章	棚田の展開と景観
第 1 節	棚田の成立と景観
第 2 節	棚田の景観
第 3 章	棚田の管理と文化的景観
第 1 節	溜池と用水の管理
第 2 節	現代につながる水利慣行
第 4 章	姨捨棚田の文化的景観
第 1 節	文化的景観の基本構造
第 2 節	文化的景観の特性

中野方町坂折の棚田文化的景観調査報告書

刊行年月 平成 23 年 3 月
刊 行 恵那市教育委員会文化課

目 次

はじめに

検討の経過と体制

第 1 章 地域の概況

- 1 - 1 恵那市中野方町の概況
- 1 - 2 坂折地区の概況

第 2 章 坂折の自然

- 2 - 1 地形と地質・気候
- 2 - 2 植物
- 2 - 3 哺乳類
- 2 - 4 野鳥
- 2 - 5 両生類・爬虫類
- 2 - 6 魚介類
- 2 - 7 トンボ類・水生昆虫類
- 2 - 8 坂折棚田の生態系

第 3 章 坂折の暮らしと文化

	3-1	棚田の現況
	3-2	暮らしと民俗・文化財
	3-3	家屋と集落
第4章		保全活動と住民意識
	4-1	文化的景観の保全活動
	4-2	住民意識と景観認知
第5章		文化的景観の構造と特性
	5-1	景観単位ごとの景観構成要素と景観特性
	5-2	坂折の文化的景観の特性
資料編		

安土・八幡の文化的景観保存活用事業報告書

刊行年月	平成18年3月
刊 行	安土・八幡の文化的景観保存活用委員会

目 次

第1章	自然的特性
	1 西の湖の自然環境の概観
	2 西の湖の自然環境の特性と今回の調査の視点
	3 西の湖の湿性植物群落に生息する特徴的な植物
	4 長命寺川と西の湖の水草
	5 西の湖のヨシ原における鳥類生息状況と生息環境の保全
	6 西の湖周辺のヨシを中心とする植物利用の民俗
	7 保全への提言
第2章	社会的特性
	1 円山の葭問屋
	2 ヨシの利用
第3章	歴史的特性
	1 はじめに
	2 歴史的概要
	3 環境循環型農業
	4 まとめ
第4章	景観認知
	1 景観認知の調査
	2 調査の方法

第5章	集落調査
	1 集落構造
	2 建物的特徴
	3 工作物等
	4 円山・白王の集落景観の特徴
第6章	景観分析
	1 はじめにー自然に包まれた眺望景観
	2 山系の構成
	3 山系に位置する集落ー山と不可分な生活文化の風景ー
	4 集落の見え方
	5 山の見え方
	6 文化的景観の視点場ー人と自然の間にある持続的な風景ー

「高島市海津・西浜・知内の水辺景観」保存活用事業報告書

刊行年月	2008年3月
刊 行	高島市
編 集	高島市海津・西浜・知内地区文化的景観保存活用委員会

目 次

第I部	「高島市海津・西浜・知内の水辺景観」保存調査報告
第1章	自然環境
	1 地誌と気候
	2 海津・西浜・知内地区周辺の特筆すべき植物とその生息地
	3 魚類にとっての海津・西浜・知内の水辺景観および人間との関わり
第2章	歴史的特性
	1 生業の場としての琵琶湖岸
	2 古代・中世の海津・西浜
	3 江戸時代の様相
	4 近代化への道
第3章	民俗的特性
	1 海津・西浜の漁具と漁法
	2 知内の漁具と漁法
	3 海津・西浜・知内地区の内水面漁業の特徴

- 4 アユの利用と流通往来
- 5 海津・西浜・知内地区とアユ
- 第4章 集落と伝統的建造物
 - 1 海津・西浜の集落構造
 - 2 海津・西浜の景観構成要素
 - 3 海津・西浜の集落景観
 - 4 海津・西浜地区の石積みについて
- 第5章 景観（環境）認知に関する調査
 - 1 調査の方法
 - 2 調査結果のまとめ
 - 3 特筆すべき景観要素

「高島市針江・霜降の水辺景観」
保存活用事業報告書

刊行年月 2010年3月
刊行 高島市
編集 高島市新旭地域のヨシ群落および
針江大川流域の文化的景観保存活
用委員会

目次

- 第I部 「高島市針江・霜降の水辺景観」保存調査
報告書
- 第1章 「高島市針江・霜降の水辺景観」の特性
 - 1 自然条件と立地条件
- 第2章 文化的景観の自然的基盤
 - 1 安曇川北部扇状地の河川と地下水－カ
バタとの関係において－
 - 2 湖岸および集落の水系に生息する魚類
の特徴
 - 3 新旭地区の湖辺に特徴的に生息する稀
少な湿地性植物
- 第3章 湖辺の形成と景観の歴史の変遷
 - 1 考古遺跡からみた針江・霜降周辺地域
 - 2 中世の針江・霜降周辺地域
 - 3 近世の針江・霜降周辺地域
 - 4 近代以降の針江・霜降周辺地域
- 第4章 集落の構造と景観
 - 1 針江・霜降の集落構造
 - 2 針江・霜降の景観構成要素
 - 3 針江・霜降の集落景観

- 第5章 水利用と集落
 - 1 水利用の景観－上下水道普及とカバ
タ利用
 - 2 針江地区における水環境利用システム
と「文化的景観」の全体構造
- 第6章 生業が創る景観
 - 1 生業が創り出す景観－ハマのヨシの90
年－
 - 2 漁労の工夫がもたらした景観
 - 3 ほ場整備と環境保全型農業
- 第7章 地域での認識と今後のまちづくりについて
 - 1 「針江生水（しょうず）の郷委員会」の
歩み
- 附 録 「孫と子に伝えたい文化的景観についての
アンケート」調査結果報告

米原市東草野の山村景観保存活用事業報告書

刊行年月 平成25年3月
刊行 米原市
編集 米原市東草野の文化的景観保存計
画策定委員会

目次

- 第1部 東草野の山村景観 保存調査報告書
- 第1章 「東草野の山村景観」の特性
 - 1 自然条件と立地条件
 - 2 景観の構成と特徴
- 第2章 文化的景観の自然的基盤
 - 1 姉川とその支流が形成する地形
 - 2 東草野の地質と鉱物
 - 3 東草野の気候・気象
 - 4 姉川水系に生息する魚類の特徴
 - 5 東草野に生育する特徴的な植物
 - 6 東草野の鳥類・哺乳類生息状況と生息
環境の保全
- 第3章 文化的景観の歴史の変遷
 - 1 考古遺跡からみた東草野
 - 2 中・近世の東草野
 - 3 近代以降の東草野
 - 4 地籍図からみた近代の東草野
 - 5 現代の東草野

第4章 集落の構造と景観
1 東草野の集落構造
2 東草野の景観構成要素
3 東草野の集落景観
4 東草野の水利用
第5章 生業が創る景観
1 甲津原の麻織物と景観
2 曲谷の石臼作りと景観
【報告】 石切り場跡の調査
3 甲賀の生業と景観
4 吉槻の生業と景観
5 山の利用と生業
6 植物利用の民俗
7 東草野歳時記
8 冬の暮らし
第6章 交流が創る景観
1 峠道と石造物が語る景観
2 民俗からみた交流
3 建造物からみた交流
4 新たな交流とまちづくり
第7章 今後のまちづくりに向けて
1 「東草野まちづくり懇話会」の活動
第8章 まとめ

文化的景観（北山杉の林業景観）
保存・活用事業報告書

刊行年月	平成18年2月
刊行	文化庁／財団法人京都市文化観光 資源保護財団

目次

第1章 北山杉林業景観の特性
第2章 北山杉林業地域の自然・歴史と現状
第1節 北山林業地域の自然
第2節 北山林業地域の歴史
第3節 北山林業の展開
第3章 北山杉林業景観の成立と構造
第1節 事例集落中川地区の概要
第2節 北山杉の育林・加工技術
第3節 林地の構成及び利用
第4章 北山杉の林業景観の構成

第1節 北山杉の林業景観の社会構造
第2節 北山林業地域の景観構成
第5章 北山杉林業景観保護
第1節 文化的景観としての北山杉林業景観
第2節 文化的景観に関する住民意識調査
第3節 北山杉林業景観の保全をめぐる文化政策的課題
第4節 北山杉林業景観保全のための法整備
第5節 重要文化的景観選定の申し出と選定後の保存・活用事業の推進に向けての体制について
第6節 文化的景観（北山杉の林業景観）保存・活用事業の運営
付 章
1 北山杉林業地域年表
2 北山杉の文化的景観に関する意識アンケートについて
3 委員会・協議・調査録

京都岡崎の文化的景観調査報告書

刊行年月	平成25年3月
刊行	京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課
編集	(独) 国立文化財機構 奈良文化財研究所 文化遺産部景観研究室

目次

序章 調査の目的と概要
1 調査の目的・経緯および対象地域概要
2 調査体制および報告書の構成
3 調査検討過程・パネル展概要
第1章 自然・歴史・地理的環境
1 自然的基盤
2 土地利用変遷
3 地形・地割の変遷
4 小結
第2章 京都のなかの岡崎
1 平安京・京都と周縁地域
2 「景勝ヒンターランド」岡崎－場所性・

	重層性・象徴性
	3 京都岡崎の文化的景観
第3章	場の認識
	1 南禅寺及び近世集落の成立
	2 近世における「六勝寺跡」の認識－『古瓦譜』の世界－
	3 岡崎へのまなざし
	4 岡崎界隈の建築文化
	5 小結
第4章	生活文化と都市文化
	1 琵琶湖疏水と岡崎公園
	2 蔬菜栽培と京の食文化
	3 岡崎界隈の祭礼行事
	4 文教地区としての岡崎公園の形成
	5 岡崎の都市文化
	6 岡崎の住宅建築
	7 小結
第5章	琵琶湖疏水と生活生業
	1 琵琶湖疏水の沿革
	2 琵琶湖疏水の線路決定と用地取得
	3 琵琶湖疏水と産業の展開
	4 白川・琵琶湖疏水沿線の土地利用
	5 琵琶湖疏水で結ばれた岡崎・南禅寺界隈庭園群の成立
	6 疏水園池群の生態系
	7 岡崎・南禅寺界隈の二次的自然
	8 小結
第6章	京都岡崎の文化的景観の構造
	1 文化的景観の構造
	2 景観構成要素
第7章	京都岡崎の文化的景観の本質的価値

宇治の文化的景観 文化的景観保存調査報告

刊行年月 [記載なし]
刊 行 宇治市

目 次
第1部 文化的景観保存調査報告
第1章 宇治市の概況と自然環境
1 宇治市の概況

2 地形的な特性
3 自然環境の特性
4 土地利用状況
第2章 宇治の歴史的特性の概要
第3章 宇治の生業的特性（宇治茶）
第4章 宇治地区の文化的景観の特性
1 位置と地形
2 歴史の変遷
3 宇治川の利用
第5章 宇治地区の建築物・街路・茶業建物の調査
1 保存調査
2 建築調査
3 街路調査
4 茶業建物調査
第6章 白川地区と黄檗地区
第7章 景観認知の概要

日根荘地域の文化的景観調査報告書 (大木・土丸地区)

刊行年月 平成20年3月
刊 行 泉佐野市教育委員会

目 次
日根荘地域の文化的景観保護推進事業の経過
第1章 泉佐野市の概況
泉佐野市の位置
日根荘地域の文化的景観とその範囲
第2章 大木・土丸地区の概要
第1節 位置と概況
第2節 自然環境
第3節 社会環境
第4節 歴史環境
第3章 文化的景観の景観単位及び構成要素
第1節 景観単位と地区区分
第2節 景観構成要素
第3節 景観構成要素間の関係
第4節 日根荘遺跡と景観
第4章 「日根荘地域の文化的景観」としての価値
第1節 日根荘地域の文化的景観の特性の整理
第2節 日根荘地域の文化的景観としての

第5章	日根荘地域の文化的景観の今後に向けて
第1節	日根荘地域の文化的景観保存への課題
第2節	史跡日根荘遺跡の保存と文化的景観
第3節	地域住民の活動・取り組み
付	日根荘の文化的景観保存活用検討委員会 ワークショップ（調査／説明会）「荘の里 の景観を語る」実施状況 調査対象地域の主な土地利用規制

兵庫県芦屋市芦屋川の文化的景観調査報告書

刊行年月	平成24年3月
刊 行	芦屋市教育委員会

目 次

第1章	はじめに
第1節	芦屋市と芦屋川の概要
第2節	文化的景観について
第2章	芦屋市の景観保全・育成の取り組み
第1節	芦屋市景観地区について
第2節	芦屋川南特別景観地区の概要
第3章	芦屋川をとりまく自然
第1節	芦屋川流域の地形・地質
第2節	芦屋川の生き物
第4章	芦屋川が育んだ歴史
第1節	原始の芦屋川とその周辺
第2節	古代の芦屋川とその周辺
第3節	中世の芦屋川とその周辺
第4節	近世の芦屋川とその周辺
第5節	近現代の芦屋川とその周辺
第5章	芦屋川中・下流域の歴史文化遺産

生野鉾山及び鉾山町の文化的景観保存調査報告書

刊行年月	平成22年3月
刊 行	朝来市教育委員会
編集協力	株式会社地域計画建築研究所

目 次

1	調査の概要
1.1	調査の目的と方法
1.2	調査の経過と組織
1.3	調査地区の範囲
1.4	参考文献及び既往研究
2	生野の町と鉾山
2.1	自然と社会
2.2	生野の歴史の変遷
3	鉾山町の景観分析
3.1	鉾山町の区域設定
3.2	各地区の状況
3.3	生野の空間構造
4	景観を構成する生活文化
4.1	鉾山町の暮らし
4.2	伝統行事
4.3	芸術にみる鉾山町の影響
4.4	林業・農業にみる鉾山町
5	鉾山町の景観認知
5.1	アンケート調査にみる景観認知
5.2	ヒアリング調査による景観認知
5.3	芸術などにみる景観認知
5.4	地名にみる鉾山町
5.5	その他の景観認知
6	文化的景観の価値
6.1	文化的景観の本質的な価値
7	重要文化的景観選定に向けた課題

「奥飛鳥の文化的景観」保存計画

刊行年月	平成23年
刊 行	明日香村

目 次

はじめに	
序 章	計画策定の目的と体制
序－1	計画策定に至る背景と目的
序－2	検討のための体制
第Ⅰ部	調査編

第1章	奥飛鳥地域文化的景観保存計画策定調査に関わって
第2章	文化的景観調査対象区域の設定と調査対象地域の概況
2-1	文化的景観調査対象区域の設定
2-2	奥飛鳥地域の概況
第3章	文化的景観の構成要素とその有機的関連
3-1	文化的景観構成要素の特性
3-2	構成要素の有機的な関連
第4章	地域における景観認知
4-1	景観認知の把握と方法
4-2	地域で認知された文化的景観を構成する重要な要素
第5章	奥飛鳥地域文化的景観の構造
5-1	奥飛鳥地域の文化的景観の価値と景観単位
5-2	景観単位別の価値構造
5-3	奥飛鳥地域の文化的景観の本質的価値

第2節	有田川町清水地区の生業空間の変遷
第3節	近世の生業複合と保田紙
第4節	清水地区の年中行事
第5章	景観の構造とその特性
第1節	土地利用と景観の変遷
第2節	景観の特性
第3節	景観認知の特性
第4節	集落空間の構成
第5節	蘭島を中心とする有田川中流域に残存する民家の特性
第6章	景観保全とまちづくりの方向性
第1節	景観保全とその意義
第2節	地域農業の実態と景観保全のための組織、手段
第7章	文化的景観の価値と特性
第1節	文化的景観の特性
第2節	文化的景観の本質的価値
近世資料	

蘭島及び三田・清水の農山村景観保存計画

刊行年月 平成25年3月
刊 行 有田川町教育委員会

目 次

第I部	保存調査
第1章	保存調査の目的と沿革
第1節	保存調査にいたる経過
第2節	事業の結果と保存調査の検討体制
第3節	有田川町と清水地区の概要
第4節	蘭島及び周辺地域の概要
第2章	蘭島と周辺地域の自然環境
第1節	有地形・地質学的調査
第2節	植物相
第3節	動物相
第3章	蘭島の棚田と周辺の歴史的変遷
第1節	古代・中世
第2節	近世
第3節	災害と文化的景観
第4章	生業と民俗
第1節	概説

奥出雲町文化的景観調査報告書： 奥出雲たたらと棚田の文化的景観

刊行年月 平成25年3月
刊 行 奥出雲町教育委員会

目 次

第1章	保存調査の目的
1	調査に至る経緯
2	保存調査の目的
3	検討体制
第2章	奥出雲町の概要
1	位置と沿革
2	地理的環境
3	歴史的環境
4	人口・産業構造
5	奥出雲町の文化財
第3章	調査範囲の選定と概要
1	位置と環境
2	調査対象範囲
第4章	自然環境の特性
1	地形

	2 地質
	3 気候
	4 植生
	5 動物
第5章	奥出雲町のたたら製鉄の変遷
	1 『出雲国風土記』に見える奥出雲の鉄・鉄器生産
	2 中世奥出雲の鉄生産
	3 製鉄遺跡から見た近世奥出雲の鉄生産
	4 近世・近代の各鉄師のたたら経営
	5 角炉による鉄生産
	6 国選定保存技術のたたら吹き製鉄
第6章	たたら製鉄・鉄穴流しと鉄山（山林）
	1 鉄穴流しと土地利用
	2 鉄穴流し水田と奥出雲仁多米のおいしさの秘密
	3 鉄山の利用形態
第7章	たたら学習と地域文化活動
	1 ふるさと学習の取り組み
	2 住民の景観保全活動
	3 住民文化と伝統芸能
	4 景観の保全活動と地域づくり
	5 たたら文化の情報発信
第8章	文化的景観の本質的価値
	1 鉄穴流し跡の景観特性
	2 鉄穴流し跡に形成された棚田の景観特性
	3 現代の山林構造と景観特性
	4 山内集落の形成と景観特性
	5 角炉の景観特性と今日的価値
	6 まとめ

徳島県上勝町榎原地区（水田景観）
榎原の棚田文化的景観保存計画

刊行年月 平成 21 年 5 月
刊 行 上勝町教育委員会

目 次

第1章	調査の概要
1.1	はじめに
	1.1.1. 調査に至る経緯

	1.1.2 文化的景観とは
	1.1.3 調査対象地の概要
1.2	調査の目的
1.3	調査の構成
	1.3.1 保存調査の概要
	1.3.2 保存計画の概要
	1.3.3 調査等の検討組織等
1.4	取り組みの流れ
第2章	保存調査
2.1	上勝町の概観
	2.1.1 上勝町の町勢
	2.1.2 上勝町の農業事情
	2.1.3 上勝町の棚田
2.2	榎原地区の概観
	2.2.1 榎原地区の年譜
	2.2.2 榎原地区の成り立ち
	2.2.3 榎原地区における耕地面積と戸数の推移
	2.2.4 榎原地区の歴史的景観
	2.2.5 榎原地区の災害
	2.2.6 榎原地区の棚田畦畔の植生と昆虫相
2.3	景観の構成要素
	2.3.1 農地
	2.3.2 水系
	2.3.3 樹木・山林
	2.3.4 道
	2.3.5 建造物
	2.3.6 生活・文化
	2.3.7 空間の景観特性
2.4	地区景観の特性
	2.4.1 榎原地区の景観特性
	2.4.2 個々の景観特性
2.5	榎原地区文化的景観の価値
	2.5.1 榎原地区の文化的景観
	2.5.2 棚田景観の価値
	2.5.3 集落景観の価値
	2.5.4 里山景観の価値
	2.5.5 重要な構成要素の一覧及び概要

遊子水荷浦の段畑保存管理計画書

刊行年月 平成 19 年 3 月
刊 行 宇和島市・宇和島市教育委員会

目 次

第Ⅰ章 沿革と目的

I-1 計画策定に至る経緯と経過

I-2 計画の目的

I-3 検討体制

調査編

第Ⅱ章 水荷浦地区及び周辺地域の概況

II-1 位置

II-2 沿革

II-3 自然環境

II-4 社会環境

II-5 土地利用の状況

II-6 土地利用行為に係る法令及び区域

II-7 水荷浦地区が受けている各種選定

II-8 遊子地域での環境保全活動

第Ⅲ章 文化的景観の景観単位及び構成要素

III-1 水荷浦の段畑に見られる歴史的変遷

III-2 水荷浦地区を取り巻く自然環境

III-3 水荷浦の段畑における生活・生業

III-4 文化的景観の構成要素及びそれらの有機的関連

第Ⅳ章 地域における景観認知

第Ⅴ章 文化的景観の本質的価値

V-1 価値見解

V-2 本質的価値を踏まえた保存・管理と整備・活用による課題

V-3 生業を支えてきた仕組み

※『宇和島の段々畑保存・活用計画書』（平成18年3月、宇和島の段々畑保存・活用委員会刊行、ブレック研究所編集協力）を再構成したものである。

津野町文化的景観保存調査報告書

刊行年月 2008年3月

刊 行 津野町

目 次

はじめに 四万十川流域の文化的景観保護の意義と

目的

1 四万十川流域における津野町の地域特性

津野町の概要

1 自然的特性

2 歴史的特性

3 社会的特性

2 景観単位と景観構成要素

1 津野町四万十川流域の文化的景観調査物件

2 各文化的景観調査地区の現況

3 津野町における文化的景観と集落調査

1 北川集落

2 口目ヶ市集落

3 船戸集落

4 芳生野集落

5 不入山周辺

6 大古味山周辺

4 津野町における文化的景観の価値

5 四万十川流域の文化的景観

四万十川流域の文化的景観 源流域の山村（高知県高岡郡津野町）調査報告書

刊行年月 [記載なし]

刊 行 津野町

目 次

第1章 区域の設定

1 文化的景観の範囲と区域設定に関する考え方

2 第一次選定申出区域

■第二次選定申出予定区域設定の考え方

■申請範囲図

第2章 四万十川流域の文化的景観の特徴

2-1 自然的特性

2-2 歴史的特性

2-3 社会的特性

第3章 平成20年度指定景観単位と景観構成要素

3-1 津野町四万十川流域の文化的景観調査物件

3-2 各文化的景観選定地区の現況調査

第4章 第2次選定申請予定区域の特性

	■ 布施ヶ坂地区
	■ 高野・宮谷地区
第5章	選定申請地区の集落調査
	5-1-1 布施ヶ坂地区
	5-1-2 高野地区
	5-1-3 宮谷地区
	5-2 集落と民家
	5-3 桂地区の茶畑石積について
第6章	平成22年度二次選定調査対象区域の構成要素
	(1) 布施ヶ坂周辺
	(2) 高野地区周辺
	(3) 宮谷地区周辺
第7章	茶業
	■津野町の茶－土佐茶再興の新しい構図－
	■津野町の茶の文化

四万十川流域における山村集落と棚田景観 保存調査報告書

刊行年月 [記載なし]
刊 行 檜原町

目 次

はじめに

第1章	四万十川流域における檜原町の地域特性
	第1節 檜原町の概要
	第2節 自然的特性
	第3節 歴史的特性
	第4節 社会的特性
第2章	檜原町の文化的景観
	第1節 檜原町における調査対象地区
	第2節 河川地区
	第3節 国有林地区
	第4節 神在居地区
第3章	文化的景観の本質的価値
第4章	四万十川の文化的景観

中土佐町文化的景観保存調査報告書

刊行年月 2008年3月
刊 行 中土佐町

目 次

はじめに 四万十川流域の文化的景観保護の意義と目的

1	四万十川流域における中土佐町の地域特性
	1 自然的特性
	2 歴史的特性
	3 社会的特性
	4 中土佐町大野見における流通・往来
	5 久礼港での流通・往来
2	景観単位と構成要素
	1 中土佐町四万十川流域の文化的景観調査物件
	2 地区別に見た構成要素
3	中土佐町における文化的景観と集落調査
	1 高樋集落
	2 久万秋集落
	3 槇野々集落
4	「四万十川上流域における流通・往来と農山村集落景観」の文化的景観の価値
5	参考文献
6	四万十川流域の文化的景観

四万十川流域の文化的景観 上流域の農山村と流通・往来 調査報告書

刊行年月 [記載なし]
刊 行 中土佐町

目 次

はじめに

第1章	四万十川流域における中土佐町の地域的特性
	第1節 中土佐町の概要と調査対象区域
	第2節 自然的特性
	第3節 歴史的特性
	第4節 社会的特性
	■西山城跡と坪ノ内遺跡の発掘調査成果からみた「加納久礼別符」の様相

	■町並みの建造物に見る特徴と流通・往来
	■久礼八幡宮について
第5節	中土佐町における土地利用
第2章	平成21年度中土佐町文化的景観調査対象区域の景観単位と構成要素
第1節	平成21年度中土佐町文化的景観調査対象区域の景観単位と構成要素
第2節	まとめ 中土佐町文化的景観の価値

四万十川流域の文化的景観保存調査報告書

刊行年月 [記載なし]
刊 行 四万十町

目 次

はじめに	
四万十川流域の文化的景観保護の意義と目的	
第1章	四万十川流域における四万十町の地域特性
第1節	四万十町の概要
第2節	自然的特性
第3節	歴史的特性
第4節	社会的特性
第2章	四万十町の文化的景観
第1節	四万十町における調査対象地区
第2節	調査対象地域と河川
第3節	大正奥四万十区域
第4節	四万十川中流区域
第5節	高南台地区
第3章	文化的景観の本質的価値

四万十川流域の文化的景観 下流域における生業と流通・往来 保存調査報告書・保存計画書

刊行年月 2010 年
刊 行 四万十市

目 次

四万十川流域の文化的景観保護の意義と目的	
第1章	四万十川流域における四万十市の地域特性
第1節	四万十市の概要
第2節	自然的特性
第3節	歴史的特性
第4節	社会的特性
第2章	四万十市の文化的景観
第1節	四万十市における調査対象地域
第2節	調査対象地域と河川
第3節	黒尊川区域
第4節	四万十川下流区域：口屋内地区
第5節	四万十川河口区域：下田地区
第3章	本質的価値
第1節	文化的景観の本質的価値
第2節	四万十川流域の文化的景観

求菩提地区文化的景観調査報告書

刊行年月 平成20年3月
刊 行 豊前市
編集協力 (株) 修復技術システム

目 次

第1章	調査の概要
第1節	調査の背景と目的
第2節	調査地区
第3節	調査の対象・項目
第2章	景観の概要
第1節	自然
第2節	歴史
第3節	生活・生業
第4節	地区住民の生活と意識
第3章	文化的景観の価値
第1節	文化的景観の特性
第2節	景観保存計画の指針

新川・田籠地区文化的景観調査報告書

刊行年月 平成22年3月
刊 行 うきは市

目次

第1章 調査の概要

- 1 調査の背景と目的
- 2 調査地区
- 3 調査の対象
- 4 検討体制

第2章 調査地の概要

- 1 自然環境
- 2 人文・歴史
- 3 生活・生業
- 4 地区住民の生活と意識

第3章 調査地の景観構造

- 1 集落・棚田の立地と水利
- 2 葛箆地区
- 3 本村・分田地区
- 4 日森園・小間坊・馬場地区

第4章 文化的景観の価値

- 1 文化的景観の特性
- 2 新川・田箆における文化的景観の価値

文化的景観「蕨野の棚田」保存活用事業報告書

刊行年月 平成18年3月

刊行 「蕨野の棚田」文化的景観検討委員会

目次

I はじめに

II 蕨野の集落と棚田

- 1 蕨野の集落
- 2 蕨野における棚田の形成と発達
- 3 里山と里地の景観
- 4 棚田の造成と手間講
- 5 棚田の水利と営農
- 6 棚田の保全運動とその担い手

III 蕨野の文化的景観

- 1 棚田と里山の地質・地形
- 2 棚田と里山の植生
- 3 棚田の分布とその発達
- 4 棚田の構造と景観
- 5 ムラの暮らしと民俗

IV 文化的景観の保存とその活用に関する基本方針

V 資料

からつ 蕨野の棚田 文化的景観保存管理計画

刊行年月 平成20年3月

刊行 唐津市・唐津市教育委員会

編集 (株) エスティ環境設計研究所

目次

第1部 調査編

第1章 蕨の地域及び周辺地域の現況

- 1-1 唐津市相知町の概況
- 1-2 蕨野地域の位置と地勢
- 1-3 蕨野地域の自然環境
- 1-4 蕨野地域の社会環境
- 1-5 土地利用の状況

第2章 文化的景観の特色

- 2-1 棚田の形成と発達
- 2-2 里地と里山の景観
- 2-3 棚田造成の知恵と工夫
- 2-4 暮らしと民俗
- 2-5 蕨野の地域の文化財
- 2-6 保全運動と担い手

第3章 文化的景観の本質的価値

- 3-1 本質的価値の捉え方
- 3-2 蕨野らしさを取り巻く視点
- 3-3 文化的景観を構成する要素

佐世保市黒島の文化的景観保存調査報告書

刊行年月 平成23年3月

刊行 佐世保市教育委員会

目次

第1章 調査の概要

- 第1節 調査に至る経緯及び目的
- 第2節 調査対象地区及び項目

第2章 調査対象地域

	第1節	佐世保市の概要
	第2節	調査対象地域の概要
第3章		調査対象地の景観特性
	第1節	自然的特性
	第2節	歴史的特性
	第3節	生業及び生活の特性
	第4節	地区住民の景観、生活意識
第4章		文化的景観の価値
	第1節	文化的景観の価値見解
	第2節	価値の説明

	第6節	集落とキリシタン
	第7節	聖具（御神体）の分布と信仰形態
	第8節	景観認知とキリシタン
	第9節	平戸のキリシタン文化と信仰空間
第7章		調査地における生業・集落・信仰空間の価値

五島市久賀島の文化的景観保存計画

刊行年月 平成23年3月
刊 行 五島市

平戸島と生月島の文化的景観保存調査報告書

刊行年月 平成21年5月
刊 行 平戸市教育委員会

目 次

第1章	保存調査の目的
第2章	文化的景観保存調査の対象範囲
第3章	調査地の概要
第4章	景観の構造と特徴
	第1節 調査地の景観構造
	第2節 平戸島地域
	第3節 生月地区
第5章	人々の暮らしと景観
	第1節 自然と人間の関わり
	第2節 集落組織と年中行事・農暦
	第3節 石積みの景観資源と石垣築造技術
	第4節 石造物の分布
	第5節 水利及び土地利用からみた景観形成について
	第6節 棚田の地名について
	第7節 文化的景観研究における「明暦二年田方帳抜書」の価値
	第8節 生業・集落景観と海からの視点
第6章	「かくれキリシタン」と景観
	第1節 平戸・生月島の「かくれキリシタン」と遺跡
	第2節 安満岳信仰
	第3節 整地中江ノ島の信仰
	第4節 オラショに唄われる景観
	第5節 板石積み墓とキリシタン

目 次

序 章	沿革と目的
	1 計画の目的
	2 検討体制
	3 計画策定に至る経過
	4 位置及び範囲
	5 文化的景観申出について
第1部	文化的景観保存調査の概要
第1章	保存調査の目的
	第1節 保存調査に至る経緯
	第2節 保存調査の内容と方法
第2章	五島市の概要
	第1節 位置と環境
	第2節 歴史・沿革
	第3節 文化財
第3章	景観構造と特徴
	第1節 集落
	第2節 交通
第4章	生業
	第1節 ツバキ実採取
	第2節 その他の生業
第5章	民俗・習俗
	第1節 年中行事
	第2節 信仰
第6章	文化的景観の本質的価値
	第1節 ツバキ林の分布と管理
	第2節 ツバキ油生産とその特色

雲仙の文化的景観「雲仙岳と岳の棚田」調査報告書

刊行年月 平成 21 年 3 月
刊 行 雲仙市教育委員会
編 集 (株) エスティ環境設計研究所

目 次

1 章 地域の概況

2 章 雲仙岳と岳の棚田の自然

2 - 1 雲仙岳と岳の棚田の地形・地質

2 - 2 雲仙市千々石町の岳・清水棚田と
里山の植生

3 章 棚田景観の特性

3 - 1 棚田の分布と土地利用変化

3 - 2 石積み棚田と水利の特性

3 - 3 棚田の保全運動

4 章 地域の歴史・生活文化と文化財

4 - 1 聞き取り調査の概要

4 - 2 聞き取り調査概要

5 章 集落の景観構成と地域社会

5 - 1 集落の景観構成

5 - 2 住民の生活と景観に関する認識

6 章 棚田の景観構成

6 - 1 調査目的

6 - 2 調査の概要

6 - 3 調査結果

6 - 4 まとめと課題

7 章 文化的景観の保存とその活用に関する基本的
考え方

7 - 1 本質的価値、保存管理の視点につ
いて

7 - 2 文化的景観と捉える区域について

7 - 3 重要な構成要素について

小値賀諸島の文化的景観保存調査報告書―流通と往
来の歴史が育んだ島嶼世界の文化的景観―

刊行年月 平成 24 年 3 月
刊 行 小値賀町教育委員会

目 次

はじめに

第一章 保存調査の目的

第 1 節 保存調査にいたる経緯

第 2 節 保存調査の方法と内容

第 3 節 保存調査の実施体制

第二章 小値賀諸島の概要

第 1 節 位置

第 2 節 沿革

第 3 節 人口の推移

第 4 節 地形と地質

第 5 節 植生と生物

第 6 節 小値賀諸島外との交流

第 7 節 流通と往来の歴史を示す文化財

第三章 調査地の景観構造と特徴

第 1 節 小値賀諸島の自然環境

第 2 節 小値賀諸島の歴史的環境

第 3 節 島々の生活・生業の環境

第四章 島人の暮らしと文化的景観の形成

第 1 節 自然と人間の関わり

第 2 節 島嶼間の互助制度とトクドン制度

第 3 節 石造文化

第五章 小値賀諸島の文化的景観に関する住民の意
識調査

資料編

新上五島町北魚目の文化的景観保存計画

刊行年月 平成 23 年 10 月
刊 行 新上五島町

目 次

序 文化的景観の位置及び範囲

1 計画の目的

2 検討体制

3 計画策定に至る経過

4 位置及び範囲

5 文化的景観の申出について

第 I 部 文化的景観保存調査の概要

第 1 章 保存調査の目的

第 1 節 調査に至る経緯及び目的

第 2 節 調査対象地域

	第3節	調査項目
第2章		新上五島町の概要
	第1節	新上五島町の概況
	第2節	地形と地質
	第3節	生物と環境
	第4節	歴史
	第5節	文化財
第3章		生活と生業
	第1節	農業と林業
	第2節	漁業
	第3節	生活
	第4節	交通
第4章		集落
	第1節	北魚目地域の概要
	第2節	北魚目地域の集落
	第3節	住居と石積みの構築物
	第4節	集落の特性と類型
	第5節	集落と生業
第5章		各論
	第1節	集落
	第2節	歴史
	第3節	教会
	第4節	信仰
第6章		文化的景観の本質的価値

新上五島町崎浦の五島石集落景観保存計画

刊行年月 平成24年5月
刊行 新上五島町

目次

序	文化的景観の位置及び範囲
	1 計画の目的
	2 検討体制
	3 計画策定に至る経緯
	4 位置及び範囲
	5 文化的景観の申出について
第I部	文化的景観保存調査
第1章	保存調査の目的
	第1節 調査に至る経緯及び目的
	第2節 調査対象地域
	第3節 調査項目

第2章	新上五島町町の概要
	第1節 新上五島町の概況
第3章	自然
	第1節 地形と地質
	第2節 生物と環境
	第3節 動植物
第4章	歴史
第5章	生活と生業
	第1節 漁業
	第2節 農業
	第3節 山の利用
	第4節 主な生業の変遷
第6章	集落の土地利用と構造
	第1節 崎浦の概要
	第2節 土地利用
	第3節 集落構造
第7章	崎浦の石材業
	第1節 崎浦地域の採石のはじまりと隆盛
	第2節 崎浦地域より産出される石材の性質
	第3節 砂岩の採石
	第4節 砂岩の利用と分布
	第5節 石工の技術と役割分担
第8章	各論
	第1節 石造建造物の系譜と崎浦地域
	第2節 崎浦地域の民家における腰板石について
	第3節 上五島崎浦地域の民家建築
	第4節 崎浦地域の寺社建築
	第5節 頭ヶ島天主堂の建築
	第6節 鉄川与助の日記と頭ヶ島天主堂
	第7節 崎浦地域における集落空間
	第8節 上五島のキリシタン史概論
	第9節 頭ヶ島白浜遺跡出土の近世人骨
	第10節 崎浦地域の石切場について
第9章	文化的景観の本質的価値－五島石の石切場と腰板石の住居がつくる集落景観

天草市崎津の漁村景観調査報告書・保存計画書

刊行年月 平成22年10月
刊行 天草市教育委員会教育部文化課

目 次

第1部 天草市崎津の漁村景観調査報告書

序 章

- 1 沿革と目的
- 2 文化的景観保存調査の対象範囲

第1章 自然的特性

- 1 天草の自然の概要
- 2 崎津・今富・一町田地区の自然

第2章 歴史的特性

- 1 天草の歴史（古代から中世）
- 2 天草におけるキリシタンの歴史
- 3 キリシタン版天草本の意義
- 4 江戸時代の天草支配と支配構造
- 5 近世崎津村の宗門改帳と異宗回信者
- 6 明治時代から現代まで
- 7 天草の文学を概観する

第3章 社会的特性

- 1 流通・往来
- 2 江戸時代における肥後天草郡の漁村（飼子浦）と漁場
- 3 崎津・今富の社会構造の特色
- 4 民俗儀礼
- 5 天草炭田

第4章 景観の特性

- 1 対象地一体の景域の調査分析
- 2 対象地を取り巻く交通環境
- 3 対象地の土地利用特性
- 4 崎津教会天主堂を視対象とした景観の分析

第5章 集落・建築

- 1 集落景観調査計画
- 2 集落景観調査結果
- 3 集落景観の調査における市民参加
- 4 カケに関する詳細調査
- 5 トウヤに関する詳細調査
- 6 国道整備による景観の変化
- 7 集落景観分野に関するまとめ
- 8 町並みの形成過程
- 9 建造物調査
- 10 崎津の民家建築調査
- 11 家屋・家並み追加調査

第6章 まとめ

- 1 崎津景観の歴史と文化
- 2 崎津景観の意味と価値

天草市今富の農村景観保存調査報告書・保存計画書

刊行年月 平成24年3月
刊 行 天草市教育委員会文化課世界遺産登録推進室
編 集 (株) エスティ環境設計研究所

目 次

第1部 天草市崎津の漁村景観調査報告書

序 章

- 1 沿革と目的
- 2 文化的景観保存調査の対象範囲

第1章 自然的特性

- 1 天草の自然の概要
- 2 崎津・今富・一町田地区の自然

第2章 歴史的特性

- 1 天草の歴史（古代から中世）
- 2 天草におけるキリシタンの歴史
- 3 江戸時代の天草支配と支配構造
- 4 近世の大江村・崎津村・今富村
- 5 明治時代から現代まで

第3章 社会的特性

- 1 近世今富村の社会構造～宗教とキリシタン信仰の実態
- 2 崎津・今富の社会構造の特色～明治期の集落～
- 3 1980年代中頃の崎津・今富における「かくれキリシタン」の伝承
- 4 今富地区の文化的伝統
- 5 崎津村・今富村・大江村の流通・往来
- 6 今富地区の民俗
- 7 植物と信仰施設
- 8 片白墓地・大山大神宮の立地

第4章 景観の特性

- 1 今富地区の景域
- 2 近世今富村の耕地の変遷
- 3 干拓による土地造成のプロセス

第5章 集落・建築

- 1 集落景観調査計画
- 2 今富地区の土地利用特性
- 3 今富地区における水利用
- 4 農村集落の景観特性
- 5 その他の集落の景観特性

	6 家屋・家並み調査
第6章	まとめ
	1 崎津・今富地区の結び付き
	2 今富地区の本質的価値と景観特性

天草市大江の農村景観保存調査報告書・保存計画書

刊行年月	平成 25 年 3 月
刊 行	天草市教育委員会文化課世界遺産登録推進室
編 集	(株) エスティ環境設計研究所

目 次

第1部	文化的景観保存調査報告書
序 章	
	1 沿革と目的
	2 文化的景観保存調査の対象範囲
第1章	自然的特性
第2章	歴史的特性 流通・生業
	1 大江における糺方日記
	2 大江村キリシタンの近世の信仰と近代の復活
	3 大江組における天草くずれの影響
	4 天草の切支丹復活
	5 近世期における天草下島の東シナ海側の漁場と漁場利用
	6 大江の流通・生業
第3章	社会的特性
第4章	景観構成
	1 調査計画
	2 対象地の概要
	3 大江地区における景観構成要素の把握
	4 道の変遷に関する分析
	5 眺望景観に関する分析
	6 文化的景観の保全活動に関する考察
第5章	建造物 家並み
	1 調査の目的
	2 調査の方法
第6章	景観の特性

「通潤用水と白糸台地の棚田景観」
文化的景観調査報告 文化的景観保存計画

刊行年月	平成 20 年 3 月
刊 行	山都町教育委員会

目 次

はじめに	
第1節	文化的景観保存計画と山都町景観計画の基本的な考え方
第2節	山都町の概要
第1部	「通潤用水と白糸台地の棚田景観」保存調査報告
第1章	現代社会における棚田の役割と現状
第1節	「粒食文化圏」が発展させた棚田
第2節	中山間地の現状－白糸台地の場合－
第3節	農村維持のための取り組み
第2章	自然特性
第1節	通潤用水下井手内の水生生物の調査方法
第2節	調査の結果
第3節	文化的景観構成要素としての生態系の意義
第4節	通潤用水における水性生物多様性の保全にむけての提言
第3章	通潤橋・通潤用水の歴史的 position－幕末日本社会の到達形態－
第1節	19 世紀前期矢部手永と南手在の経済状況
第2節	地域による企画立案・技術創出
第3節	地域による巨額資金の調達
第4節	地域管理体制の構築－矢部手永と南手在にみる幕末日本社会の到達形態－
第5節	通潤用水関係の文書史料
第4章	土木特性
第1節	土木技術の特性
第2節	通潤用水の管理システム
第5章	白糸台地に残る棚田景観保全の方向性
第1節	白石、相藤寺地区の住民が認識する農村景観
第2節	棚田景観保全の方向性

文化的景観 別府の湯けむり景観保存計画

刊行年月 平成 24 年 3 月

刊 行 別府市

目 次

第 1 部	沿革と目的
第 1 節	計画策定に至る経過
第 2 節	計画の目的
第 2 部	文化的景観の調査報告
第 1 章	調査区及び地域の概況
第 1 節	調査区域
第 2 節	地域の概況
第 3 節	地域構造の変遷
第 2 章	自然環境
第 1 節	地形・地質
第 2 節	水環境
第 3 節	気象
第 4 節	植生と植物
第 3 章	温泉・湯けむりの自然科学的概要
第 1 節	温泉の分類と別府の湯けむり
第 2 節	別府温泉の現状と温泉開発のあゆみ
第 3 節	温泉水の起源・滞留時間・水収支
第 4 節	沸騰泉と噴気
第 5 節	別府温泉を涵養する原温泉水
第 6 節	泉質の形成と各種温泉水の流路
第 7 節	地熱－温泉系のモデル（塚原－明礬－鉄輪－亀川）
第 8 節	別府温泉の変化
第 4 章	歴史的変遷
第 1 節	湯けむり景観から見た別府温泉の歴史
第 2 節	江戸時代の別府温泉
第 3 節	近現代の別府温泉
第 5 章	温泉・湯けむりの民俗学的概要
第 1 節	別府温泉と上総掘り
第 2 節	温泉の給湯
第 3 節	祭り等との関わり
第 4 節	食文化との関わり
第 6 章	温泉・湯けむりに関する文化財
第 1 節	地獄
第 2 節	湯の花

第 3 節	建造物
第 7 章	温泉・湯けむりの利用実態
第 1 節	温泉と蒸し湯の利用実態
第 2 節	地獄と湯けむりの利用実態
第 3 節	湯の花の利用実態
第 4 節	蒸し湯などの入湯習俗
第 8 章	温泉観光の過去と現在
第 1 節	観光様相の歴史的展開
第 2 節	観光客の推移
第 3 節	湯治宿の状況
第 4 節	湯治客の意識
第 9 章	温泉・湯けむりの芸術文化的概要
第 1 節	美術文化との関わり
第 2 節	文学との関わり
第 10 章	景観構造の分析
第 1 節	調査事業の概要
第 2 節	住民による対象地域の景観認知
第 3 節	外来客による対象地域の景観認知
第 4 節	調査地域における選好景観の特性分析
第 5 節	古写真にみる対象地域の景観特性と景観重要地域
第 6 節	歴史変遷による景観の変容
第 7 節	重要文化的景観を構成する景観構成要素の抽出
第 11 章	まとめ

小鹿田焼の里文化的景観保存計画（第 3 版）

刊行年月 平成 22 年 3 月

刊 行 日田市

目 次

第 I 部	文化的景観調査報告
序	
第 1 章	調査区及び地域の概況
(1)	位置と対象範囲
(2)	地域の成り立ち
第 2 章	地区の概要
(1)	自然環境
(2)	生活・生業
(3)	土地利用の歴史的変遷

第3章	景観構造
	(1) 景観構成要素
	(2) 景観構造の分析
第4章	地域づくり活動と景観認知
第5章	文化的景観の保存構想
	(1) 小鹿田焼の里文化的景観の特性
	(2) 文化的景観保護制度による文化的景観の保護
	(3) 小鹿田焼の里文化的景観の保護の考え方
附	小鹿田焼の里歴史年表

田染荘小崎文化的景観保存計画

刊行年月	平成22年4月
刊行	豊後高田市教育委員会

目次

序章

第1節	位置と対象範囲
第2節	目的
第3節	景観保存の経緯と重要文化的景観
【第Ⅰ部 調査編】	田染の里文化的景観・田染荘小崎地区に関する調査報告
第1章	田染荘小崎の概要
第1節	田染荘の歴史概要
第2節	田染荘小崎の歴史概要
第3節	田染荘小崎の景観形成を支える自然
第4節	景観をつくりだした人々の暮らし
第5節	景観形成と地域づくり
第2章	田染荘小崎の文化的景観の価値
第1節	文化的景観の特性
第2節	文化的景観の価値
第3節	景観構成要素

酒谷の坂元棚田及び農山村景観文化的景観保存計画

刊行年月	平成25年3月
刊行	日南市

目次

	計画の背景と目的
	検討の体制と経過
第1部	保存調査
第1章	坂元地区及び周辺地域の現況
第1節	日南市酒谷地域の現況
第2節	坂元地区の位置と環境
第3節	坂元地区の自然環境
第4節	坂元地区の社会環境
第5節	土地利用の状況
第2章	文化的景観の特性
第1節	集落の棚田の歴史
第2節	坂元棚田の特色
第3節	飫肥林業と山林の景観
第4節	集落の暮らし
第5節	文化的景観を構成する要素及び概況
第3章	文化的景観の本質的価値
第1節	坂元地区の景観特性
第2節	棚田景観の価値
第3節	山林景観の価値
第4節	集落景観の価値
第4章	景観保全の課題と将来構想
第1節	景観保全の課題
第2節	景観保全の将来構想

2 都道府県による文化的景観価値調査報告書（～平成 25 年 3 月刊行）

「最上川流域の文化的景観」調査報告書

刊行年月 平成 23 年 3 月
刊 行 山形県教育委員会

目 次

- I 文化的景観保護の経緯
 - 1 文化的景観保護の取り組み
 - 2 県土景観保全の取り組み
- II 最上川流域の特性
 - 1 最上川の概要
 - 2 自然的な特性
 - 3 歴史的・文化的な特性
 - 4 河川利用の特性
- III 最上川流域の景観分析
 - 1 流域の景観単位
 - 2 景観認知に関する調査
- IV 「最上川流域の文化的景観」の本質的価値
 - 1 流通・往来に関する価値
 - 2 多様な河川利用に関する価値
 - 3 「最上川流域の文化的景観」と最上川
- V 保存活用に向けて
 - 1 保存活用の目的と期待される効果
 - 2 保存活用の方向性

琵琶湖と水が織りなす文化的景観
所在確認調査報告書

刊行年月 平成 23 年 3 月
刊 行 滋賀県教育委員会

目 次

- はじめに
- 調査の目的と方法
- 第 1 部 「琵琶湖」
- 第 1 章 琵琶湖の自然環境

- 第 1 節 古代湖・琵琶湖
- 第 2 節 琵琶湖における生物の多様性と人々
- 第 2 章 琵琶湖と人々の歴史
 - 第 1 節 謎の湖底遺跡－葛籠尾崎湖底遺跡に見る琵琶湖と人々－
 - 第 2 節 人類の定住と琵琶湖
 - 第 3 節 水田農耕の開始と琵琶湖
 - 第 4 節 古代国家の形成と琵琶湖
 - 第 5 節 延暦寺と琵琶湖
 - 第 6 節 塩津港遺跡の世界
 - 第 7 節 琵琶湖と荘園開発
 - 第 8 節 天下布武と琵琶湖
 - 第 9 節 大津百艘船と琵琶湖の湖上交通の展開
 - 第 10 節 新田開発と景観の成立
 - 第 11 節 琵琶湖の運河計画から琵琶湖総合計画へ
- 第 3 章 琵琶湖と人々の暮らし
 - 第 1 節 琵琶湖と人々・その集落と景観
 - 第 2 節 琵琶湖と生業活動と食文化
 - 第 3 節 琵琶湖と民俗儀礼
 - 第 4 節 竹生島の世界
 - 第 5 節 琵琶湖と信仰の世界
 - 第 6 節 表現された琵琶湖
 - 第 7 節 琵琶湖岸の集落と民家
 - 第 8 節 琵琶湖岸の社寺建築
 - 第 9 節 琵琶湖と水田経営
- 第 4 章 琵琶湖と現在、そして未来
 - 第 1 節 観光地琵琶湖
 - 第 2 節 石けん運動と琵琶湖の環境
 - 第 3 節 琵琶湖と環境教育
 - 第 4 節 人々の意識の中の琵琶湖
- 第 5 章 琵琶湖の文化的景観（その価値の所在と保護の方向性）
- 第 2 部 所在確認調査報告
 - 第 1 章 調査の総論
 - 第 2 章 源流としての文化的景観
 - 第 3 章 特徴的な地域層としての文化的景観
 - 第 4 章 歴史的特色を有する文化的景観
- 付 表 調査地点一覧表

長崎県内の多様な集落が形成する文化的景観
保存調査報告書 論考編

刊行年月 平成 25 年

刊 行 長崎県

資料編 1 長崎地方に関する 16 ～ 17 世紀及び 19 世紀の
宣教師記録の日本語訳をまとめる。

資料編 2 長崎地方に関する宣教師記録の原点史料をま
とめる。

資料編 3 関連する藩政史料等をまとめる。

目 次

第Ⅰ部 文化的景観の位置及び範囲

- 1 調査の目的
- 2 調査対象
- 3 検討体制

第Ⅱ部 長崎県の概要

- 1 概要
- 2 自然
- 3 歴史
- 4 文化財

第Ⅲ部 歴史

- 1 戦後時代末期の日本と九州
- 2 16 ～ 17 世紀キリスト教史
- 3 五島灘・角力灘海域を舞台とした 18 ～
19 世紀における潜伏キリシタンの移住
について
- 4 幕末維新期のキリシタン政策と信徒の
動静
- 5 開国後の日本におけるキリスト教各派
の動向
- 6 19 世紀以降の教会堂建設

第Ⅳ部 集落

- 1 家屋の特徴
- 2 個別集落の詳細調査

第Ⅴ部 民俗

- 1 九州西岸地域におけるキリシタンの信
仰形態とその変容について
- 2 長崎・天草におけるキリシタン語彙の
継承と変容
- 3 かくれキリシタン聖画比較研究

第Ⅵ部 まとめ

- 1 長崎地方におけるキリシタン集落の形
成
- 2 キリシタン集落に残る重要な構成要素

※論考編に加え、資料編 1(第 1 分冊～第 3 分冊)、資料編 2(第
1 分冊～第 3 分冊)、資料編 3 がある。内容は以下のとおり。

